



平成 30 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 旅 工 房  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 高 山 泰 仁  
 (コード番号：6548 東証マザーズ)  
 問 い 合 わ せ 先 取 締 役 執 行 役 員 前 田 宣 彦  
 コ ー ポ レ ー ト 本 部 長

TEL. 03-5956-3044

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 11 月 10 日に公表した平成 30 年 3 月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正

(1) 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

|                              | 売上高    | 営業利益 | 経常利益  | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|------------------------------|--------|------|-------|-----------------|------------|
| 前回発表予想 (A)                   | 24,544 | 42   | 22    | 17              | 3円88銭      |
| 今回修正予想 (B)                   | 24,257 | 81   | 69    | 39              | 8円53銭      |
| 増減額 (B - A)                  | △286   | 39   | 47    | 21              |            |
| 増減率 (%)                      | △1.2   | 95.1 | 208.3 | 118.4           |            |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 29 年 3 月期) | 22,526 | 313  | 300   | 192             | 53円36銭     |

(注) 1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の 1 株当たり当期純利益は、公募増資による増加株式数 (450,000 株) 及びオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分 (84,000 株) を含めた期中平均株式数により算定しております。

2. 当社は、平成 28 年 12 月 10 日付で普通株式 1 株につき 100 株の割合で、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行いました。平成 29 年 3 月期の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 平成 30 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

|                              | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|------------------------------|--------|-------|-------|-------|------------|
| 前回発表予想 (A)                   | 24,511 | 30    | 10    | 9     | 1円99銭      |
| 今回修正予想 (B)                   | 24,221 | 69    | 57    | 32    | 7円02銭      |
| 増減額 (B - A)                  | △289   | 39    | 46    | 22    |            |
| 増減率 (%)                      | △1.2   | 131.1 | 438.9 | 250.1 |            |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 29 年 3 月期) | 22,511 | 295   | 282   | 181   | 50円29銭     |

(注) 1. 平成 30 年 3 月期通期個別業績予想の 1 株当たり当期純利益は、公募増資による増加株式数 (450,000

株)及びオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(84,000株)を含めた期中平均株式数により算定しております。

2. 当社は、平成28年12月10日付で普通株式1株につき100株の割合で、平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成29年3月期の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

## 2. 修正の理由

売上高につきましては、バリ島やグアム等のビーチ方面において火山噴火や北朝鮮情勢による渡航者減少の影響を受けたことにより、前回予想より286百万円減の24,257百万円となる見込みです。一方、為替レートが想定より円高に推移したことから外貨建の仕入取引に係る売上原価が減少し、売上総利益は前回予想より71百万円増の3,246百万円となる見込みです。

販売費及び一般管理費につきましては、将来の収益拡大に備えて積極的な人材投資及びシステム投資を行った結果、人件費及び支払手数料が増加したものの、効率的な広告運用により広告宣伝費が減少したことから、概ね前回予想通りとなる見込みです。

以上の結果、営業利益は前回予想より39百万円増の81百万円を見込んでおります。経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、為替差益が発生したことにより、前回予想より47百万円増の69百万円となる見込みです。また、特別損失として、一部店舗の減損損失を4百万円計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想より21百万円増の39百万円となる見込みです。

個別業績予想の修正理由につきましては、上記の連結業績予想の修正理由と同様であります。

- (注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上